

令和3年度 授業改善推進プラン 教科名（社会）

学習状況と課題分析		本校の生徒は学習意欲が高く、ノートやプリントなどの取組もしっかりと行えている。また、授業内容のメモをとることで、より授業への集中を高めている生徒も多くみられる。ただ一方で基礎基本の習得が不十分であったり、一般常識と思われる事項を知らない生徒もあり、確認を丁寧に行うことや、生徒の実情を理解することも重要である。社会科では過去・現在の社会現象や社会問題に触ることで、『社会的な思考・判断・表現力』の向上に取り組んでいる。必要な内容をしっかりと押さえ把握させるとともに、社会科を「考える教科」として捉え、自らが問題を解決できる力を養うような指導が必要である。
授業改善に向けた取組	基礎基本の充実	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的事項の反復的な学習による定着を継続していく。そのためには基本的事項のより一層の精選を図り、理解が深まるよう生徒に提示する。 ○ 具体的には今までに習った基礎基本事項を明示・確認する演習問題（復習テスト・一部学年では朝学習など）の実施、家庭学習用の課題の提示などを行い、学習内容の定着を図る。授業ノートやプリント類にもポイントを明示する工夫をし、基本となる内容にいろいろな角度からアプローチして、理解が確かなものになるよう配慮し、知識・技能の向上を図る。
	主体的・体験的な学習、個に応じた指導	<p><思考・判断・表現の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を見通した計画に基づき、段階的な向上を図る。レポートや感想文などの課題を工夫して取り組ませ、思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ○ 班などのグループ討議を通じて、自分の意見や考え方を高める機会にする。 ○ 3年生では、新聞記事やニュースでの話題も活用して現代社会への興味を喚起し、個々の意見を持たせ、発表などで表現させる。 <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元、指導内容に応じて電子教材を利用し、映像資料などを活用することで興味を喚起していく。 ○ 教材の吟味をより一層進め、また、常に「なぜだろう」という発想をもたせ、主体的な問題解決へのアプローチを行う。 ○ 現在及び過去の社会に関する様々な資料を取り上げ、これをもとに考察し関心が高まるよう指導する。ニュースなどに向き合う活動等を取り入れ、社会科を身近な教科としてとらえさせる。
	評価について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明確で具体的な評価規準を設け、生徒・保護者への周知を徹底し、誰もが納得できる評価・評定を目指す。また、個々の努力が結果として表れるよう常に心掛ける。